

第28回あいち国際
女性映画祭2023
国内招待作品



命を産み、育てるあなたのそばに、信頼できる誰かがいますように

70%の風景

監督・撮影・編集：吉田夕日

出演：渡辺愛(つむぎ助産所)、神谷整子(みづき助産院)

撮影：伊藤切菜子 音楽：森田明枝(作編)、毛谷史人(演奏) サウンドエディター：井上久美子

製作：SUNSET FILMS 後援：公益社団法人日本助産師会 宣伝アドバイザー：中野青 産前・宣伝：リガード
ドキュメンタリー / 2023 / 日本 / 106分 / DCP ©2023 SUNSET FILMS

助産所や自宅での出産を選択した4人の女性と、彼女たちをサポートする助産師。
妊娠、出産、産後と子育てのはじまり…途切れることのない日々の記録。

jpsan-movie.com

上映会

日時 2024年8月25日(日)10:30~12:10(開場10:00~)
場所 G-NETしが 男女共同参画センター(近江八幡市)
鑑賞 無料 定員100名(事前申込・先着順)
主催 一般社団法人 滋賀県助産師会

99%のお産が病院やクリニックといった
医療施設で行われている日本で
助産所や自宅での出産という
「1%の選択」をした4人の女性と
彼女たちをサポートする助産師の
日々をみつめたドキュメンタリー



あまり知られていない助産所という場所。そこでは助産師が医療機関と連携し、妊娠、出産、産後と子育ての始まりまで、一貫して母子をサポートしています。健診のたびに顔をあわせ、お腹にふれ、何気ない会話を交わす。妊婦と助産師はささやかな時間を積み重ね、信頼関係を築き、命が生まれようとする“その時”をともに待ちます。

初めてのお産に挑む人、予定日を過ぎてでも生まれる気配のない人、自宅での出産を希望する人、コロナ禍に病院での立ち会い出産が叶わず転院してきた人。都内にある二つの助産所を舞台に4人の女性のお産を撮影したのは、本作が初監督作品となる吉田夕日。第一子を病院で、第二子を助産所でお産した経験から、助産師の世界をもっと知りたいと本作の制作を決意しました。



この映画で描かれるのは助産所や自宅での自然分娩です。しかし、大切なのは場所や方法を問わず、命を産み、育てようとする女性のそばに信頼できる誰かがいる、ということ。近年、さまざまな理由により、お産の取り扱いをやめる助産所が増えています。社会が多様化し、選択肢がひろがる一方で、失われつつある“命の風景”をみつめた4年間の記録です。

memo 世界保健機関 (WHO) が推奨する
分娩期のケアとは…

- 妊産婦を尊重したケア
- 効果的なコミュニケーション
- 産婦が希望する付き添い者の確保
- 助産師制度が機能している環境下において
助産師が主導する妊娠・出産・産後を通じた継続ケア

※ WHOガイドライン「ポジティブな出産体験のための分娩期ケア」参照



監督・撮影・編集：吉田夕日 出演：渡辺愛（つむぎ助産所）、神谷整子（みづき助産院）
撮影：伊藤加菜子 音楽：高田明枝（作曲）、右谷史人（演奏） サウンドエディター：井上久美子 製作：SUNSET FILMS
後援：公益社団法人日本助産師会、公益社団法人東京助産師会 宣伝デザイン：中野香 監給・宣伝：リゾード
こども家庭庁 こども家庭審議会 推薦

ドキュメンタリー | 2023 | 日本 | 106分 | DCP © 2023 SUNSET FILMS @josan_movie fb.com/josan.movie2023/ josan-movie.com

1%の風景

一般社団法人滋賀県助産師会

滋賀県栗東市出庭1199-2

TEL 077-553-3931

<https://shiga-mw.org/>

助産師会



申込先

